

不思議な僧侶たち

特集

拝観料のゆくえ

好評連載中!

マンガ お坊さん日和。「どうして君は…?」

ブックレビュー「ダライ・ラマ 共苦の思想」

しりとり法話バトル「友達」

42



特集

拝観料のゆくえ

彼女「拝観料高いね」 彼氏「全部お坊さんの給料だよ」
今年の新緑のまぶしい初夏の頃、滋賀の古いお寺に参拝したら、
境内ですれ違ったカップルの会話が聞こえてきた。
眼力が強いとよく言われる。剃髪した頭だとさらに目立つので、
いつも帽子を深々とかぶって、眼が目立たないようにしている。
帽子はシャレオツなハンチング。そしてお気に入りの花柄シャツ。
すれ違ったカップルはまさか私が僧侶だとは気づかなかったろう。
しかし、声を大にして言いたかった。
あなたたちは、めちゃめちゃ重要なことを見落としている。

山田真悟=文
text: SHINGO YAMADA

加賀俊裕=写真
photography: SHUNYU KAGA

想像力で発見できる

ニンニクを食べたら身体がニンニク臭くなる。そのことは、この身体は自分が食べたものでできているということを見せてくれる。それを思うとき、この身体はどこをとつても、自分の意思でつくり出したものは何一つないことに気づかされる。

知識も言葉もそうで、すべて人から教わり、真似て、まるで「袋」に入れるように蓄積させ、経験から場所と時を比較して、器用に「袋」から出し入れしている。そしていつしか、自分の好みの知識ばかりを入れて、自分の価値観をつくり上げ、人と違うことを「個性」と呼び、その価値観がすべてだと勘違いをしながら、「私」だと思いついでゆく。

このたまたまな状態を仏教では「仮和合」と呼ぶ。仮和合とは仮にくつついていないにすぎない状態。自分の知識だけに頼ることの危うさを教えてくれる。そして一見、私と関係のないもののように見えて、一つひとつを見ていくと、すべてが繋がっているとも教えてくれる。これが仏教という縁起。

その手に握られたスマホに

は、数百人の名前と電話番号とアドレスがメモリされている。

ただそのほかに、部品一つひとつに製造者の作業工程や思い、原材料の場所が記憶されている。もちろんそれを引き出す手立ては何一つ無い。でも部品一つひとつが持っている記憶は、引き出せないからといって「無い」わけじゃない。想像力で引き出すことはできる。

想像力でいろんなモノと繋がっている私を発見できる。それって、お参りしたあのお寺やこのお堂、このご本尊やあの仏像にも言えること。見えているものと、人から教わった知識、そして想像力で重ねてみると、今まで見えてこなかったモノが見えてきて、気づかなかつたことに気づかせてもらえる。

タイムマシンがなくても

名利・古刹といわれる古いお寺の周りには狭い道が多い。古いお寺の敷地が護られているので、あんまり開発されないからだ。ということは、今いる道が、鑑真和尚や行基菩薩、最澄さんや空海さん、鎌倉諸師が歩いた道そのものであることが多い。そしてその背後に連なる

山々にいたっては、ほとんど変わっていない。富士山も、奈良の二上山や信貴山、和歌山の高野山、滋賀の比叡山、京都の愛宕山も、諸師たちが仰ぎ見られた山そのものだ。

想像力を駆使して、道、山々、森、山門に立ち止まって残された時代のカケラを探す。そしてご本堂でクライマックス。「なにこの仏像スゲー！平安時代!? 法然聖人も手を合わされたんだ!!」とタイムマシンがなくても、容易にタイムスリップできる。

あの日雨が降ってなかったら

350年ほど前、少年が、僧侶になる儀式を終えたことを御本尊にお伝えするために参拝した日、あいにくの雨降りだった。少年僧はそのとき、こんなことを考えたと伝わっている。

「私は傘をさして雨に濡れることがないのに、お仕える仏さまが雨ざらし。これじゃ逆さまじゃないか。こんなもつたいないことはない。いつか、この仏さまを元のお姿にお戻しして、お堂も再建したい」

その思いをずっと胸に秘めつつ少年僧は成人し、集まる僧侶

たちの前で突然発表して、やがて実現される。その仏さまとお堂こそ、私たちが修学旅行で参拝したあの奈良の大仏さまと大仏殿だ。

その方は公慶上人。巨大すぎて誰も再建なんてできるはずはないと思う中、たった一人で全国に向いて人々に寄附を呼びかけられた。

お金持ちに言って大金を集めれば楽なのに。ついそう思ってしまうがただ、公慶上人はそうされなかった。なぜなら、そもそも奈良時代、聖武天皇は「権力で民に労苦を強いたり、憎しみを生みながら大仏を造つたのでは意味はない。心から仏を敬い、自らの意思で一握の藁、一握りの土塊をもって大仏の造立に携わりたく願ってこそ意味を持つ」という詔を發布して、たくさんの人々に関わってもらい、人々の思いを繋いで建立したからだった。

公慶上人の呼びかけにお布施が次々に寄せられ、江戸時代初期の日本の総人口は今の人口の4分の1。3000万人くらい。その少ない人口の中わずかに6年後に大仏さまは完成する。続く大仏殿再建のために奔走中に公慶上人は亡くなられる。

想像力。それを駆使して一つひとつ丁寧に見ていくと、すべてのものと繋がっている私を発見できる。



そのお姿はお弟子たちによって写され、お木像が作られた。瞳は血走り、頬は瘦せこけ、そのお姿からどんなご苦労だったかが伺える。

公慶上人の没後約3年たって、遺志を引き継いだお弟子たちによって大仏殿は完成。公慶上人のお木像は新たに建立された東大寺公慶堂にご安置され、今日も大仏殿に向かって合掌しておられる。

もしあの大雨が降っていなかったら、東大寺は今の形ではなかった。大仏殿に対する見え方が変わっていく。

「パワースポット」「癒しのお寺」「文化財の宝庫」といった最近よく見る売り文句は、お寺やご先祖が守ってきた大切なものを見えにくくしている。

お寺は、ある日急に現れたんじゃない。仏教の教えが、突然聞こえてくるわけじゃない。ご先祖や僧侶が伝えてきた仏法に思いを馳せ、想像してみる。声なき声に耳を傾けてみる。

「袋」の中身

自分好みの知識を蓄積してきた「袋」。でもその中には、自分で入れていないものまで入っ

ていることに気づいた。

生まれ育った家庭は、昭和のごく標準的な核家族。よくある地方都市の街はずれの新興住宅地に住む、共働きのサラリーマン家庭だった。なので、祖母や親戚とは正月とお盆ぐらいにしか顔を合わすこともない。

祖母の世代は身近な人を戦争で亡くしている人も多い。父も父親を知らずに成人した。そのせいか文化や宗教に無頓着で、よその仏壇の前で、神社参拝の作法の相手を打つ筋金入りの無宗教者だった。そんなんだから家の宗派なんて知りもしない。一応、仏教かな？ くらい感覚。もちろん仏壇なんてなかった。お葬式も連れて行ってもらったこともなかった。お墓？ それってやっぱり土葬ですか？ 夜はヒトダマ出ますよね？

結局、無宗教だった家の宗派を知ったのは、父方の祖母が亡くなった大学生のときだった。浄土宗だった。

一方、母方の祖父の家は日蓮宗。春休みや夏休みで母の実家に遊びに行ったときに必ずお墓参りやお寺参りに連れていかれたから知っていた。

子供心に痛烈に覚えている。薄暗い本堂の奥にご安置されて

いるお坊さんの彫刻がやたらに色白だった。それがとても気味が悪くて、本堂を小走りに通り抜けたものだった。今ならあの白いお坊さんが誰かを言える。

祖母はご先祖の苦勞を聞いて育ったのか、嫁入りした家の菩提寺をととても大切にしていた。行事ごとにお寺参りをして、いつしか「今生最後の願いは、日蓮宗のご本山、久遠寺へ参拝させてもらうこと」と口にしていった。そして祖母が亡くなる数年前、かねてからその願いを聞いていた叔父が祖母を連れて久遠寺に参拝。ところが久遠寺には287段の菩提梯という階段があつて、高齢の祖母には到底登れない。叔父は祖母をおんぶしてその階段を登りきった。そして祖母は北海道から持参したお布施をお供えして、長年の夢を果たすことができた。

ご先祖の稲藁の上に

いろんな出会いとご縁が重なって、私は家の宗教とは全く違う宗派、浄土真宗の僧侶になった。これまでごく普通に浄土真宗の本山・西本願寺へ参拝してきた。西本願寺のお堂も江戸初期に建造され、お堂には当



西本願寺御影堂の畳
(取材協力=浄土真宗本願寺派 西本願寺)

藁があることを知った。その上に座ってお参りにしていたのだ。お堂は建設時に多額の費用と人手がかかる。もちろん修復の際も同じこと。お寺の収入でそれらが賄われるが、その収入は

時大変に貴重なものだった畳が、700枚以上も敷き詰められている。浄土真宗と全く関係のないところから自分は僧侶になつたはずと思っていたが、父が亡くなつたとき戸籍謄本を見て気づかされることになる。父の母、父方の祖母は新潟県生まれ。新潟といえば、浄土真宗の開祖親鸞聖人ゆかりの地。浄土真宗と関係大ありの場所だった。東大寺がその時代の人々の信仰心によって、一握の藁をもつて建立され、護られ再建されてきたように、西本願寺のお堂の畳も、全国の信者の田んぼで収穫した一握の稲藁で作られている。お堂の700枚を超える畳の中に200年前の会つたこともない新潟のご先祖が刈った稲

彼女「全部お坊さんの給料だよ」
カップルよ。そうじゃない。今あなたや私が参拝しているお寺は、会つたことのないあなたや私のご先祖が大切に信仰して、よるこんで納めたお布施をもとに、造られ、維持され、護り伝えらてきたんだよ。ご先祖からご先祖へ脈々と受け渡されてきたバトンを、今あなたたちや私が手にしているんだよ。ご先祖があなたや私に残

もとはと言えば、信者の寄進やお賽銭だ。とてもわずかだが、私のご先祖の寄進したお金によつて西本願寺のお堂は、現代に伝えられてきたものだった。いや、西本願寺だけじゃない。父方の浄土宗のご本山知恩院も、母方の日蓮宗のご本山久遠寺も、私のご先祖のお布施によつて守り伝えられてきていた。会つたことのないご先祖が、教えやお寺の伽藍を大切に守り、残し、伝えてきたくれたから、今日お参りさせてもらっている。お寺の見え方が変わつていった。
今日か明日かと
彼女「拝観料高いね」

私という「袋」に、自分好みの回答や知識ばかりを入れようとするのではなく、はじめは違和感があつても時間をかけて、別の価値観やベクトルを入れようとしてみる。そうして新しい「袋」をつくり、世界の見え方を変えてくれる場所が、お寺なのだと思う。ご利益やパワースポットだけじゃない。自分の宗派を知つ

し伝えたお寺に、平成の世のあなたや私がお参りさせてもらつていて、今払つた拝観料が、未来にお堂を伝える浄らかな財に充てられるんだよ。幸運のパワースポット、今だけの癒し、文化財の宝庫。今という時間だけを切り取つたら、お寺は確かにそうなのかもしれない。悩みの大きさに関係なく、悩めばその解決をお願いしたくなる。だけど、ほんのちよつと立ち止まってよく考えたい。お寺を「自分の願いをかなえるための場所」だと思つていないか。自分に都合よくご利益を求めて、神さまや仏さまを「願いを聞き受けてくれる存在」にしていないか。私にとつて都合のいい「道具」におとしめていないだろうか。

て、ご先祖が大切に信仰し守り伝えたお寺にお参りしよう。ご先祖が残したカケラを想像力で膨らませよう。残されたカケラは、今も子孫の私たちに気づいてもらえるのを今日か明日かと待っている。

山田真悟(やまだ・しんご)
1972年北海道生まれ。東大阪市大乘寺所属。就活の最終面接に失敗。失意の中、京都を散策。陽射しから逃げるように入ったお堂で、僧侶養成学校の入学案内を手にして、翌1995年浄土真宗本願寺派僧侶に。趣味はガンダム。

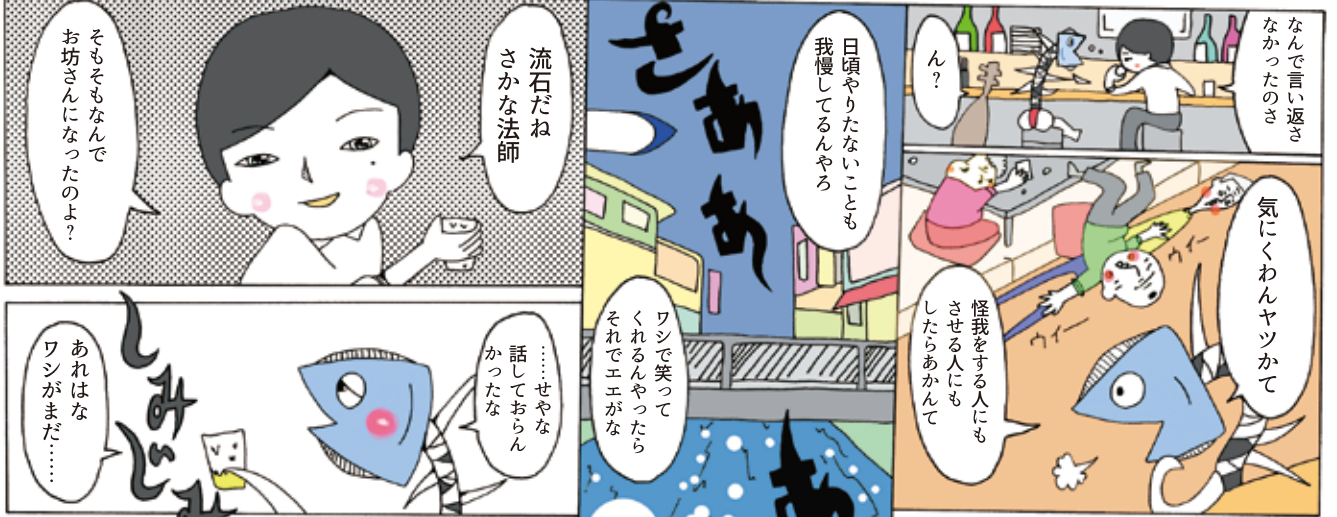


お坊さん 日和。

20

“どうして君は…?”

まんが
みつぞあ ひろあま



ついに、お坊さん語り出す! つづく。

漫画II光澤裕顕●真宗大谷派稱護寺衆徒。仏教と漫画の融合を自指している。鴨川ランナー3級。

Book Review

Reviewer

飯村絵理子 フリースタイルな僧侶たち編集部

永遠の仏教初心者にして、仏教に遊ぶ。
歌舞伎の解説がナリワイ。

ダライ・ラマに恋できる学術書

ダライ・ラマ14世といえば、スピリチュアル界のジョブズ——とは、もちろん誤解。でも、その印象も無理はないと思えるのは、ダライ・ラマ関連の書籍に発言録や名言集が多いせいかもしれない。

本書もダライ・ラマの発言を扱うが、そういう書籍とは一線を画す。

著者はダライ・ラマ14世の思想を長年追い続けてきた研究者。ダライ・ラマはチベット仏教の法王でありながら他宗教に触れ、科学を信頼し、近代に真正面から立ち向かってきた稀有な存在だ。著者はダラ

イ・ラマの発言の深層に流れている、仏教の根本思想「共苦（ニンジェ）」に着目。「共苦」とは「他者が苦しむのを見るに耐え難く、他者が苦しみから離れるようにと欲する思い」だそうだ。ダライ・ラマが仏教的「共苦」の思想を、近代世界に通用する普遍的な思想へ昇華させようとしてきた経緯を、著者はチベット語の文献をはじめ膨大な資料にあたり、丹念に読み解いている。そしてその視線は、著者を含めた現代を生きる私たちの自由と欲望の問題にまで注がれている。



ダライ・ラマ 共苦の思想

著／辻村優英
発行／ぶねうま舎
価格／2800円(＋税)

本書は、客観的な分析を基にダライ・ラマの魅力を高濃度で抽出した学術書だ。しかし、たとえダライ・ラマをオレンジ色のオジさま程度にしか知らない私が読んでも、興味と深い恋心を抱いてしまう一冊だった。

♪ともだち100人、いらないな

第15回

しりとり 法話バトル

「友達」

「理由もなく会えるのが友達で、理由がないと会わないのが知り合いで、理由を作った会いたくなるのが好きな人」そんなフレーズをネットで見かけました。多くの人にとって腑に落ちる表現ではないでしょうか。理由もなく会える友達という関係性は、非常に心地の良いものですね。

仏教の重要な実践のひとつに布施、すなわち見返りを求めることなく他者に与える、ということがあります。そうありたいと思いつつ、欲しい気持ちを抑えるというのはこれがなかなか難しいものです。

そういうときには大切な友達と過ごした時間を思い出すことが手掛かりになります。友達と過ごすごときには、理由もなく会い、お互いを慈しみ、

今号の勝者はこちら！

飯野顕志(いいの・けんし)

黄檗宗海蔵山王龍寺副住職。奈良県出身。29歳。からくさ模様の風呂敷がお気に入り。「アラサー僧侶とゆるーく話す会」にもゆるーく参加しています。

自然と施すことができているものです。反対に、会うことに見返りを求めたときにその人を友達と呼べるでしょうか。われわれが自然と誰かに施す感覚というのはきつと、友達から教わるものなのだと思います。

いまは、フェイスブックやツイッターでたくさんのおトモたちと簡単につながることができます。そのような時代だからこそ、理由もなく会いに行ける、「友達」と呼び合える関係を大切にしていきたいのです。

僧侶の皆さま、法話募集中です！

第16回 「小さくて大きいもの」(470字)
締切 2016年8月31日

第17回 「フーギヤ」(470字)
締切 2016年10月31日

応募先 info@raemonk.net

Judge: Eriko Imura, Maho Nakajima, Miki Goto

おすすめの仏教講座・イベント

フリースタイルな僧侶たちがおすすめする、日常の中で仏教に親しむための講座・イベント。

ヨガで心と身体をととのえる 仏教ヨガ講座



8/3 (wed)・9/7 (wed) 19:00～20:30
500円 / 定員40名(男女不問)
講師: Yuuka (ガッツ有香)
=山形県誓願寺浄土宗教師
▶仏教伝道センタービル8F *着替え持参

BDKシンポジウム ココロのゆくえ × 教育



9/13 (tue) 18:00～20:00
500円 / 定員120名 / 講師: 水谷修(夜回り先生) =水谷青少年問題研究所所長、花園大学社会福祉学部臨床心理学科客員教授
▶仏教伝道センタービル8F

疲れた心と頭の整理をする 働く人のための坐禅会



9/20 (tue) 20:00～21:30
500円 / 定員30名(男女不問)
講師: 阿純章(おか・じゅんしょう)
=天台宗 圓融寺住職
▶仏教伝道センタービル7F



公益財団法人 仏教伝道協会 BUKKYO DENDO KYOKAI

上記の講座・イベントは事前のお申し込みが必要です。
メール、ウェブサイト、Facebookにて受け付けております。

〒108-0014 東京都港区芝4-3-14 TEL 03-3455-5851 FAX 03-3798-2758
e-mail: bdk@bdk.or.jp http://www.bdk.or.jp bukkyodendokyokai で検索
JR田町駅西口 徒歩8分、都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅A9番出口 徒歩2分

僧侶たちと共に時間を過ごす アラサー僧侶とゆるーく話す会



アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは「あなたの話したいこと」。仕事・恋愛・家庭のことなど普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、お坊さんの謎な生態・仏教の考え方にご興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も大歓迎です。京町家でお茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？ どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

9/4 (sun) 14:30～17:00 / 1,000円(フリスト会員800円) / 定員10名
▶amu KYOTO(京都市下京区紅葉町364) JR京都駅より徒歩10分
お申し込みは<http://www.freemonk.net/events>まで。

仏教の“音楽”に触れる ハナ唄になるまでが理想の^{しょうみょう}聲明講座



私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本のお能や狂言などは、念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたのハナからメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座です(みんなでお勤めする浄土真宗ならではの^{しょうみょう}お経をゆるーく実際に唱えます)。“聲明僧”の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にお越しください。

9/11 (sun) 15:00～17:00 / 1,000円(フリスト会員800円) / 定員20名
講師: 山田真悟、福山智昭 ▶龍岸寺(京都市下京区八条坊門町564)
JR京都駅より徒歩10分
お申し込みは<http://www.freemonk.net/events>まで。 *筆記用具持参

今号のピックアップイベント

仏教の教えはとても深い。難解なその教えは、ときにさまざまにカタチを変えて、私たちを包んでくれる。

ミナミの街の幻想空間
 灯籠ナイト in みつてら

OSAKA



夏の夜に大阪ミナミのお寺の境内を埋め尽くすのは、願いを込めて描かれた絵写経で作った灯籠。日本の平和、家族の幸せ、自分の健康、ご先祖を思い返して願いを心に刻む、そんなゆったりとした夏の締めくくりも日本らしくいいのではないのでしょうか？ 三津寺では毎月2回、写経と写仏が楽しめる絵写経の会を開催しています。灯籠ナイトはそこで描き、お寺に奉納いただいた絵写経から灯籠を作り、お寺内で明かりを灯すことで供養するイベントです。イベント期間中は護摩(ごま) 焚き供養やヒーリングミュージック・DJによる音楽演奏、お寺でリアル脱出ゲームなど催しも盛りだくさん。ミナミに飲みに来たついでにどうぞお気軽にお立ち寄りください。

8/24(wed)~27(sat) 灯籠点灯18:30 消灯21:00▶三津寺(大阪市中央区心斎橋筋2-7-12) 地下鉄御堂筋線 難波駅または心斎橋駅より徒歩5分
 詳細是三津寺のFacebookをご覧ください。
<https://www.facebook.com/minami.mitsutera/> *「三津寺」で検索

ウワサの尼僧アイドル、自坊でライブ!?
 お寺SONIC Vol.2 ~略してテラソニー~

NARA



尼僧アイドルとして活躍する“愛\$菩薩”が次なる法事(=ライブ)の会場に選んだのは、なんと自身が副住職を勤める奈良のお寺。「お寺へお参りしたことはない方にお運びいただくきっかけになるよう」企画したという法事には、愛\$菩薩のアツイ想いに応えた住職(愛\$菩薩の父)による仏教講座が盛り込まれ、オープニングアクトの「お勤め」と相まって、まさに“法事”と言える内容に。ホームの利を活かした愛\$菩薩の歌と法話は、ライブハウスとは違った響きを聴衆に届けてくれること間違いなし。ステキなアーティストをお迎えした物販も充実。皆さまのご参詣お待ちしております。

9/11(sun) 受付13:00 開始14:00 / 1,000円(お茶とお菓子付) / 出演: 愛\$菩薩、愛\$菩薩の師僧(父) / 物販参加アーティスト: ふじたひろし、野原レンゲ、愛\$菩薩の姉
 ▶西迎院(奈良県吉野郡下市町下市564-1) 近鉄吉野線 下市口駅より徒歩12分
 お申し込みはidolbosatsu@yahoo.co.jpまで。
 詳細は愛\$菩薩のウェブサイト <http://idolbosatsu.jp> をご覧ください。

粋でおしゃれな夏夜市
 大人の夜市 in 寺町 2016

EHIME

愛媛県今治市の隠れ名所、通称「寺町」の11ヵ寺を会場に、今年も「大人の夜市」を開催。各お寺では、写経・坐禅体験だけでなく、落語、ジャズ・ジャンボ・フォークなどのライブや読み聞かせ、お茶席など、さまざまなイベントが行われます。さらに今年は、今治ジャズタウン「タウンステージ」とのコラボでさらに熱気あふれる内容に。「フリストア四国」もイベントを開催予定。スタンプラリーもあり。夏の終わりにお寺の風情に触れながら、粋な夜市をお楽しみください。



8/27(sat) 16:00~21:00 イベント開催時間や参加費は、会場ごとに異なります。▶愛媛県今治市 寺町11ヵ寺(法華寺、幡勝寺、大雄寺、隆慶寺、圓光寺、圓淨寺、大仙寺、西蓮寺、正法寺、常高寺、稱名寺) JR今治駅より徒歩15分 ※臨時駐車場あり(美須賀小学校跡地、北浜新漁港) お問い合わせ: ☎0898-22-6933(今治にぎわいフォーラム)



シャレオツなハンチング姿

編集後記

「世界は一つではない。世界は人の数だけある。人の数だけ世界の見え方は違う」と仏教は教えてくれる。自分の世界の見え方が「ふつう」だと思っていたけど、「同じものを見ていても、これほど違う光景なのか」としみじみ感じ入った。

山田さんの眼差しは、熱くて深くてあたたかい。その目に自身を重ねてみたとき、どこか心地よさも感じられる理由の一つは、「自分がちっぽけな存在だと思えてくること」にある気がした。そう思えてくると、「自分がしてきたこと」よりも「自分がしてもらってきたこと」に思いが到り、「ありがたいな」と頭が下が

る。「おかげさま」という思いが自分を満たしているとき、人は幸せな気持ちになるのだろう。

今号も陰に陽に、多くの方々のご協力があって出来上がった。特に、新潟県よりご参拝されていたご夫婦には、突然のお願いにもかかわらず、撮影協力をご快諾いただき、最高の笑顔で表紙を彩っていただいた。末筆ながら、特集記事を寄稿して下さった山田真悟さん、そして今号のためにご尽力いただいたすべての方に、心より、感謝申し上げます。

フリースタイルな僧侶たち代表 若林唯人

9月1日(木)より前売券発売開始!

薬師寺寛邦(現役の臨済宗妙心寺派僧侶)、山元サトシからなる
ボーカルデュオ「キッサコ」待望のライブツアー2017

キッサコ

『日日是好日』in KYOTO

2017.1.8(日) 京都府立文化芸術会館 京都市上京区河原町通広小路下ル
(府立医大病院前)

開場13:30 開演14:00 全席指定料金(税込) 前売¥4,500 当日¥5,000

※小学生以上有料
(未就学児は保護者1名につき1名ひざ上観賞可。お席が必要な場合は有料)

主催:(株)ジョーカンプランニング 後援:KBS京都、エフエム京都ほか 企画・制作:オフィスキッサコ 協力:IROHA records

二人の心温まる音色が詰まった
New Album、8月19日全国発売

5th Album
「日日是好日」

¥3,240(税込)
発売・販売元:
IROHA records



【購入・問合せ】ジョーカンチケットセンター: 077-535-9001 (電話・WEB販売) 10:30~17:30(土日祝除く)

その他
プレイガイド

京都府立文化芸術会館:075-222-1046 KBS京都 事業部:075-431-8300 高島屋京都店 7Fチケットショップ:075-221-8811
チケットぴあ:0570-02-9999(Pコード:303-523) ローソンチケット:0570-084-005(Lコード:54561)

●キッサコのWEBからもチケットをご購入いただけます(WEB販売のみ) オフィスキッサコ <http://www.kissaquo.net>

フリースタイルな僧侶たち 活動支援のお願い

スクーターで通り過ぎる姿か、お葬式やご法事。僧侶を見かける機会はそれぐらいだし、有名な寺院以外のお寺には、なんか入りにくい。僧侶として、この現況を申し訳ないと思うし、もったいないこととも思います。

「人生は苦なり」と説く仏教。ネガティブなようだけど、深い悩みの最中にある時には、その通りだと身に沁みます。なぜ私たちの苦しみが起こるのか。自分も他人も仕合せになるために、いかに生きればよいのか。2500年にわたり伝わってきた仏教は、そのことを教えてくれます。分厚い伝統のポテンシャルは確かなものがあり、今を生きる支えになると私たちは信じています。

仏教を身近に、日常に。そして、あなたの生きる力に。この願いをベースに僧侶と一般のスタッフがチームになって、仏教の本質は変えずに現代に翻訳し、型にとらわれずに仏教を発信する活動。それがフリースタイルな僧侶たちです。フリーマガジンの発行とイベントの実施の二つを軸に活動しており、敷居は低く、中身は深く、軽やかに仏教と出会えるように、安らぎや気づきが得られるように、持てる力を尽くしてまいります。

私たちの取り組みに共感し、応援して下さるサポーターを募集しています。志を同じくする僧侶はもちろん、仏教に真摯に向き合ってくださいボランティアスタッフもお待ちしています。仏教が生きる安らかな社会をご一緒につくっていきましょう。

応援して下さるサポーターを募集しています

- 活動支援を新規・継続でお申し込みいただいたサポーターには、本誌を毎月お送りいたします。(年間6回予定、偶数月1日発行)
- フリースタイルな僧侶たち主催のイベントにおいて優待いたします。
- 法人サポーターの方は、本誌にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費:5,000円(個人) 30,000円(法人)

〈会費振込先〉三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

*お振り込みの際には、あらかじめ下記のいずれかにご連絡ください。

☎050-5583-4330 E-mail: info@freemonk.net

協賛法人サポーターリスト

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます

浄土宗……安心院(八幡市)／安楽寺(南丹市)／延命寺(堺市堺区)／吉祥寺(萩市)／九品寺(京都市南区)／教安寺(福津市)／慶蔵院(伊勢市)／光照院(台東区)／金剛寺(京都市東山区)／西明寺(尼崎市)／西楽寺(京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(東近江市)／正覚寺(青森市)／正善寺(伊丹市)／勝楽寺(町田市)／新善光寺(札幌市中央区)／崇福寺(甲賀市)／善願寺(甲賀市)／善道寺(札幌市豊平区)／臺鏡寺(枚方市)／檀王法林寺(京都市左京区)／潮音寺(東京都大島町)／長壽院(台東区)／道往寺(港区)／梅窓院(港区)／法岸寺(静岡市清水区)／寶松院(港区)／法善寺(大阪府中央区)／妙慶院(広島市中区)／無量光寺(鳥取市)／龍岸寺(京都市下京区)

浄土宗西山禅林寺派……光明院・田中医院(京都市中京区)／宝泉寺(津島市)

浄土真宗本願寺派……教徳寺(岐阜市)／光照寺(大阪市東淀川区)／光徳寺(みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／西方寺(大和郡山田市)／西法寺(北九州市)／浄元寺(尼崎市)／正源寺(大津市)／浄満寺(大阪府西成区)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(福山市)／養法寺(金沢市)

真宗大谷派……覚法寺(福岡県八女郡)／称讚寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(伊豆の国市)／超覚寺(広島市中区)／宝皇寺(函館市)

浄土真宗東本願寺派……緑泉寺(台東区)

天台宗……圓融寺(目黒区)／大圓寺(目黒区)／本覺寺(横浜市鶴見区)

高野山真言宗……弘法寺(和泉市)／楽師院(岸和田市)

真言宗御室派……三津寺(大阪府中央区)

臨済宗妙心寺派……円光寺(台東区)／宜雲寺(江東区)／陽岳寺(江東区)／龍雲寺(世田谷区)

臨済宗建長寺派……帰一寺(静岡県賀茂郡)／東光禅寺(横浜市金沢区)

曹洞宗……四天王寺(津市)／瑞生寺(浜松市中区)／南詢寺(守口市)

日蓮宗……法華寺(亀岡市)／妙見寺(橋本市)

時宗……正法寺(京都市東山区)

単立……五百羅漢寺(目黒区)／瑞聖寺(港区)／法然院(京都市左京区)

企業・団体・店舗……一般社団法人 日本石材産業協会(千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本市中央区)／株式会社アールアンドダブルユー(京都市中京区)／株式会社カウント・ワン(大津市)／株式会社 京美仏像(京都市北区)／株式会社 薫寿堂(神戸市)／株式会社 作島(京都市下京区)／京都坊主BAR(京都市中京区)／京念珠げにや(京都市下京区)／茶坊げにし(台東区)／寺院コム(京都市左京区)／大正大学(豊島区)／豊田愛山堂(京都市東山区)／浜屋株式会社(姫路市)

*各宗派内五十首順

冬用各宗派衣価格・税込

◎布袍化織地	18,800円～	◎黒直綴化織地	27,000円～
◎改良衣化織地	17,500円～	◎白衣テトロンウール	9,950円～
◎間衣化織地	17,500円～	◎白衣高級メガーナ京仕立	16,800円～
◎黒衣化織地	30,500円～	◎足袋	950円～

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(近墨大1F)

お念珠取り揃えております





浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・キフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代	■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代
■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代	■尼崎店 ☎(06)6413-2211代
■岸和田店 ☎(072)445-2211代	■宝塚店 ☎(0797)83-4500代
■堺鳳店 ☎(072)261-2211代	■西宮店 ☎(0798)51-2211代
■藤井寺店 ☎(072)954-2211代	■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代
■駒川店 ☎(06)6709-2211代	■芦屋店 ☎(0797)35-1194代
■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代	■三本松店 ☎(079)559-2211代
■中環東大阪店 ☎(06)6783-2211代	■神戸本店 ☎(078)371-2211代
■環屋川本店 ☎(072)829-2211代	■新長田店 ☎(078)621-2211代
■枚方家具団地店 ☎(072)836-2211代	■明石店 ☎(078)927-2211代
■高槻店 ☎(072)683-2211代	■加古川店 ☎(079)426-2211代
■茨木店 ☎(072)622-2211代	■高砂店 ☎(079)443-2211代
■箕面店 ☎(072)726-5522代	■姫路店 ☎(079)282-2211代
■豊中熊野店 ☎(06)6853-2220代	■福崎店 ☎(0790)22-2211代
■豊中店 ☎(06)6848-2211代	■網干店 ☎(079)272-2211代
■川西店 ☎(072)759-2201代	■龍野店 ☎(0791)62-2235代
■北伊丹店 ☎(072)780-5211代	■赤穂店 ☎(0791)45-2211代
■伊丹店 ☎(072)775-2211代	■山崎店 ☎(0790)62-5171代
■東園田店 ☎(06)4960-4000代	■浜屋漆工芸館 ☎(079)293-2211代

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

広告募集のお知らせ

「フリースタイルな僧侶たち」に掲載する広告を募集しております。

- 媒体情報 A4サイズ/12頁/全頁フルカラー
- 発行部数 15,000部 (2016年8月現在)
- 設置箇所 寺院、書店、カフェ、その他店舗
(設置箇所はウェブサイトで確認できます)

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

info@freemonk.net

お寺の広報をサポートします

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。

- 取扱い 名刺/封筒/チラシ/ポスター/冊子

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

info@freemonk.net



心といのちの電話相談室

☎03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00～16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

「心といのちの電話相談室」の特徴

あなたを支えたいと
願う人がいます。
つらいお気持ち
おはなしてください。

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

「心といのちの電話相談室」の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たち Vol.42 拝観料のゆくえ

2016年8月1日発行

©フリースタイルな僧侶たち2016 禁無断転載

発行所 フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8305 京都府京都市下京区東若松町795-2-C
☎050-5583-4330 info@freemonk.net

編集長
若林唯人

編集
増田将之
加賀俊裕
飯村絵理子

デザイン
梅本龍青 (NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顕 (mitsuaki)
特集記事寄稿＝山田真悟

最新のイベント情報はPCサイトでCHECK!

www.freemonk.net



誌面作成の裏側やイベント風景など
@freemonk_official